

時空をこえて

とき

貴重書の世界

仙台領の飛地の絵図

江戸時代の大名の領地で、本拠地から離れた地域の領地は特に「飛地（とびち）」と呼ばれた。仙台領の飛地は、近江（おうみ、今の滋賀県）と常陸・下総（ひたち・しもうさ、今の茨城県）にあった。両地域合わせて二万石（仙台領全六十二万石のうち）だったという。

近江や常陸・下総の飛地は幕府から伊達家に与えられた。なぜこれら遠隔の地域に領地があったのかについては、本拠地を後にして京都や江戸に詰めていた人々のための補給地だったのではないかという説がある。

この2枚の絵図（地図）はそれぞれ近江と常陸・下総の飛地を表わしている。絵図には仙台領であった村々が描かれており、よく見ると「龍ヶ崎村」のように今に通じる地名も見える。これらの地と宮城県とは過去に深い縁があったのか、と思い直して眺めれば、はるかな時の移りに感慨もひとしおであろう。



仙台領の飛地の絵図（部分）

上 近江分
144 x 195cm
1699（元禄12）年製作
下 常陸・下総分
310 x 180cm
1710（宝永7）年製作

わたしのこの一冊

My Favorite Book

『中学生の教科書 死を想え』

島田雅彦ほか著 四谷ラウンド 1999年

「より善く生きるために」 柴田町 須藤 栄 喜

私は現在、中学校で美術の教師を務めている。美術はのびのびとした授業を心掛けることで、芸術教育の自由が保障され、その自由さから真の芸術に達する可能性が開かれるのだと思う。しかし、実際には混沌とした世相の中で、様々な価値観を身につけた子どもたちに、何を善いものとして、どのように教えればよいのか……、悩むこともしばしばだ。

以前、教師の資格を取るために受けた講義の中で、非常に印象に残った内容がある。それはソクラテスの考察で、「生き方（考え方）の筋道を、logos（言葉）的に考えて真は何であるか」を問うものであった。

図書館で『中学生の教科書 死を想え』に出会い、このソクラテスの考察との共通点に気付いた。同書では、「単に生きることが大切なのではなく、善く生きることが大切である」と説いている。サブタイトルにもあるように、死を想い、人間の「生き死に」を意識して、「生きる力」へ向かわなければならないと。

同書からは、各教科の「知る楽しさ」を十分に感じることができる。さらに、こうすればこうなるといった図式で子どもを見ずに、多角的に見る大切さ、自由さを学ぶこともできる。

このコーナーへの原稿(500字程度)を募集しています。あて先は図書館だより係。

図書館 Q & A

Q 人名・地名等の読み方を調べています。どうしたら図書館での調べものが上達しますか。

A 身近な市町村図書館を利用して、辞(事)典類をはじめとする各種図書館資料の使い方に慣れることが肝心です。特に辞(事)典・年鑑類は、凡例(はんれい)という、その本の使い方の説明文をよく読むと、使い方だけではなく、目的に合う本かどうかもわかります。それでもわからないときは県図書館をご利用ください。調べごとにもどうぞご相談ください。電子図書の検索操作方法もお尋ねください。なお、ご来館に不便をきたす県民の方へは電話以外にもファクシミリ(022-377-8493) 電子メール(chousa@library.pref.miyagi.jp)でも調査相談の受付をしています。

このコーナーへのご質問は、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、はがきで図書館だより係までお寄せください。

図書館からのお知らせ

特別整理期間のための休館日

年に一度の図書館資料特別整理のために、下記の期間は休館します。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

期間 = 平成13年2月22日(木)から3月8日(木)まで

祝日も開館しています。

ことばのうみ

題字 作家・高田 宏氏

本誌タイトル『ことばのうみ』は、本館第8代館長・大槻文彦編著による日本最初の近代的国語辞典『言海(げんかい)』(1889~1891年刊行)に由来する。

第6号 2000年12月発行

編集・発行 宮城県図書館

〒981-3205 仙台市泉区紫山一丁目1番地1
TEL022-377-8441(代表) FAX022-377-8484
http://www.pref.miyagi.jp/library

デザイン/印刷 株式会社共同印刷

本誌は、再生紙を使用しています。



表紙エッセイ / 西澤潤一さん

にしざわ・じゅんいち。岩手県立大学長、(財)半導体研究振興会研究所長、前東北大学総長。1926年仙台市生まれ。東北大学工学部卒。工学博士。半導体、光通信の世界的な権威。1983年に電子工学のノーベル賞といわれるジャック・A・モートン賞を受賞。1989年文化勲章、2000年エジソン賞受章。著書に『背筋を伸ばせ日本人 「信念」と「独創力」の復活』(PHP)『教育亡国を救う 科学的教育のすすめ』(本の森)など多数。